

目指せ! データサイエンティスト

9 AIドリル編

滋賀大学の 奥村先生の解説

今回は学習に関する データサイエンスの活用について 紹介します

今、多くの小学校・中学校でデジタル教材や電子黒板を用いた授業が取り入れられています。今回はそのなかでも、個人に合わせて効率的な学習をサポートする「AIドリル」を紹介します。

それぞれの理解にあわせて 復習・予習をサポート!

AIドリルとは、AIが組み込まれた教材のことで、この教材で問題を解いていくと、解答が記憶されていきます。そして、どの単元がわかっていないのか、どこをもう一度学ぶべきかなどを分析し、出題してくれます。最近は誰でもダウンロードできる無料の勉強アプリにもAIが用いられるようになり、気軽に効率的な勉強ができるようになりました。

すでにAIドリルが導入されている学校では、授業の復習の効率化に成功して時間にゆとりが持てるようになったところもあります。余った時間は授業で次の単元の予習や、より発展的な問題に挑戦することに使っているそうです。

データサイエンスとは?

大量の情報やデータを分析して役に立つ情報を得たり、将来の予測を立てたりする研究のことです。



監修: 奥村 太一(滋賀大学データサイエンス学部准教授)
制作: 滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター、近江テック・アカデミー
マンガ: 岡本 圭一郎

苦手克服に計画的な学習

奥村先生 たしかに、苦手なところを苦手なままできなくむのはつらいよね。でも、大事なものはどうして自分だけが苦手なのかを考えることなんだ。実はもっといい考え方や解き方があるの気づいていないだけという場合もあるからね。AIにサポートしてもらって、解き方や考え方のコツに気づくことができれば、わかるようになる楽しみを感じることがができるよ。(構成・編集部)

かなで 勉強って、自分がどこがわかってないかわからないときがあるけど、AIドリルはそれを教えてくれるんですね?
奥村先生 そう。わかっていないところを教えるから、苦手を克服するために計画的な学習ができるようになるんだ。
かなで でも、苦手なところばかりやられるのは、ちょっといやかも...
奥村先生 たしかに、苦手なところを苦手なままできなくむのはつらいよね。でも、大事なものはどうして自分だけが苦手なのかを考えることなんだ。実はもっといい考え方や解き方があるの気づいていないだけという場合もあるからね。AIにサポートしてもらって、解き方や考え方のコツに気づくことができれば、わかるようになる楽しみを感じることがができるよ。(構成・編集部)



奥村先生
学6年生) かなで(小
能のAI(人工知
能)って、最
近よく聞きま
す。ふだんの
勉強にも使われるようになってきた
んですね?

おしえて先生!